

事業所名

こぐまの森 放課後等デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		”ありのままのきみで”個性を尊重しながらありのままの子どもを受け止め、愛情いっぱいにゆったりと寄り添い、子どもたちにとってあたたかい居場所づくりを目指します。						
支援方針		「理解」「需要」をもとに大きな器で、お一人、お一人を支援していきます。 可能性を信じて、お子さまの潜在能力を引き出していきます。						
営業時間		14時	0分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支援内容								
本人支援	健康・生活	年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうすべきか分かっている、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せない…等多岐にわたる心身の揺らぎにおいて様々なアプローチを行い、感情を客観視し、コントロールをする練習をします。						
	運動・感覚	「緊張」「弛緩」など身体のコントロールをする練習をします。また、体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールできると、気持ちや、テンションのコントロールへも役立ちます。ミュージックケアや音楽あそびの活動にも含まれます。						
	認知・行動	「着席」「大人をよく見る」「話を聞く」「嫌なことへも頑張ってみる」等、課題に向かう、学習の姿勢を支援します。「頑張ってたよ」と感じるような関わり方や内容を工夫します。 また、情報を適切に処理、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防方法を考えます。また、何もない、暇な時間がつらく感じるお子さんもいます。待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考えます。						
	言語 コミュニケーション	「要求」「報告」「聴く」「模倣」「観察する」など、自分も周りも大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカード等、子どもにあった方法を一緒に考えます。 暴力や暴言など、社会的にも適切な行動を考え工夫し、支援します。						
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルを使用すると、「やって良かった」「楽しい」と感じるなど、良い体験となるに設定を考えています。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身に付けます。 「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。「友人」「上下」「利害」「同盟」「協力」「対立」など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動を選択できるように、一緒に考えます。						
家族支援		・保護者会の実施 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育ての困りごとへの相談援助			移行支援		・進路先や移行先への相談援助や情報提供 ・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ	
地域支援・地域連携		・子ども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助 ・相談支援事業所との連携 ・医療機関との情報連携や調整			職員の質の向上		虐待防止研修、救命救急講習 毎年実施 その他キャリアアップ研修、勉強会等多数参加	
主な行事等		クリスマス会、ハロウィンパーティ、運動会など季節の行事の実施 年数回の遠足実施 避難訓練毎月実施						